Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

平成27年1月30日 道 路 局

重点「道の駅」の選定について

~地方創生の核となる「道の駅」を重点的に応援します~

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、現在では全国で1040箇所に広がり、 地元の名物や観光資源を活かして、多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、 住民サービスの向上にも貢献しています。

国土交通省では、この「道の駅」を経済の好循環を地方に行き渡らせる成長戦略の強力なツールと位置づけ、関係機関と連携して特に優れた取組を選定し、重点的に応援する取組を実施します。

今般、有識者のご意見もいただき、選定対象を国土交通省として決定しましたので、 以下のとおりお知らせします。

1. 選定結果

- 全国モデル「道の駅」 選定数 全 6箇所
- 重点「道の駅」 選定数 全 35箇所
- 重点「道の駅」候補 選定数 全 49箇所
- ※ 選定対象の詳細は別添資料のとおりです。

2. その他

○後日、選定証を交付する場を開催する予定です(別途お知らせします)。

選定結果の詳細等はホームページでも公表いたします。(http://www.mlit.go.jp/road/Michi-no-Eki/)

(参考) 政府広報オンライン「地方創生の拠点に!地域を元気にする『道の駅』」 (http://nettv.gov-online.go.jp/prg/prg11133.html)

[間い合わせ先]

道路局 国道・防災課 企画専門官 四童子 隆(内線 37832)

課長補佐 山田 雅義(内線 37842)

企画課 課長補佐 小島 昌希 (内線 37532)

代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8492 FAX 03-5253-1620

重点「道の駅」制度の概要

- 全国各地で「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組が進展しています。
- この動きを応援するため、国土交通省では、重点「道の駅」制度を創設し、 優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点支援する取組を実施します。



【 重点「道の駅」に想定される機能 】

地域外から活力を呼ぶゲートウェイ型

地域の観光総合窓口機能

地域全体の観光案内、宿泊予約窓口 等

インバウンド観光の促進

外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、 海外対応ATM 等

地方移住等の促進

地方移住のワンストップ窓口 ふるさと納税の情報提供 等 「道の駅」が 活力を呼び、雇用を創出、 地域の好循環へ



地域の元気を創る地域センター型

地域の産業振興

地方特産品のブランド化、6次産業化 等

地域福祉の向上

診療所、役場機能、高齢者住宅 等

高度な防災機能

広域支援の後方支援拠点、防災教育等



全国モデル「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に 発揮していると認められるもの



全国的なモデルとして成果を広く周知するとともに、 さらなる機能発揮を重点支援

重点「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援 で効果的な取組が期待できるもの



取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、 関係機関が連携し、重点支援

重点「道の駅」候補

地方整備局長等選定

地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的な取組が期待できるもの

関係機関が連携し、企画検討等を支援

(選定の流れ)

重点「道の駅」実施の記者発表



企画内容の確認



「道の駅」有識者懇談会



重点「道の駅」選定結果公表



選定証授与式・交流会

「道の駅」有識者懇談会

委員長:石田 東生 (筑波大学大学院 システム情報工学研究科教授

楓 千里 [JTBパブリッシング執行役員] ソリューション事業本部副本部長]

篠原 靖 [跡見学園女子大学 マネジメント学部准教授

山田 知子 比治山大学現代文化学部教授

(敬称略・五十音順)

(参考資料)

「道の駅」の目的と機能

「道の駅」の目的

- ・道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・地域の振興に寄与

「道の駅」の機能

休憩機能

・24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

情報発信機能

・道路情報、地域の観光情報、 緊急医療情報などを提供

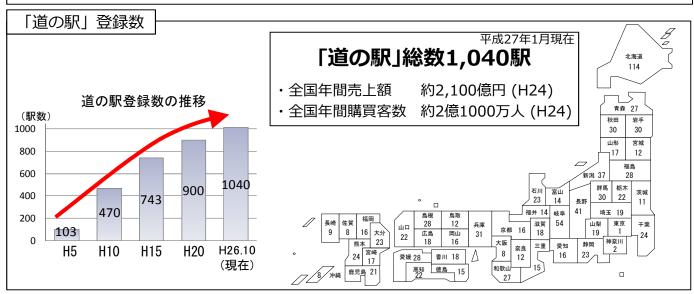
地域連携機能

・文化教養施設、観光レクリエーション施設 などの地域振興施設

「道の駅」の基本コンセプト

地域とともにつくる 個性豊かな にぎわいの場





重点「道の駅」選定箇所 (全国モデル「道の駅」、重点「道の駅」)

